

# 核燃料物質使用変更許可申請 (M棟及びウラン廃棄物処理施設) の変更

令和3年7月27日

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構  
核燃料サイクル工学研究所  
環境技術開発センター

# 1.概要

環境保全課では、既に満杯に近い廃棄物貯蔵施設の保管裕度の確保を目的に、保管廃棄しているフィルタの減容処理作業を行っている。

これまで、M棟のフィルタ処理パネルボックスを用いて、定型フィルタの処理を継続してきたが、保管廃棄している定型フィルタの保管数が減少したこと、また、処理が進んでいない不定型フィルタの処理を実施する必要があるが、M棟フィルタ処理パネルボックスは定型フィルタしか処理できず、多種のフィルタを処理するための改造には多額の費用がかかることから、M棟のフィルタ処理パネルボックスと同様の機能を有する第2ウラン系廃棄物貯蔵施設の詰替室(パネルハウス)において手作業による処理を実施する。

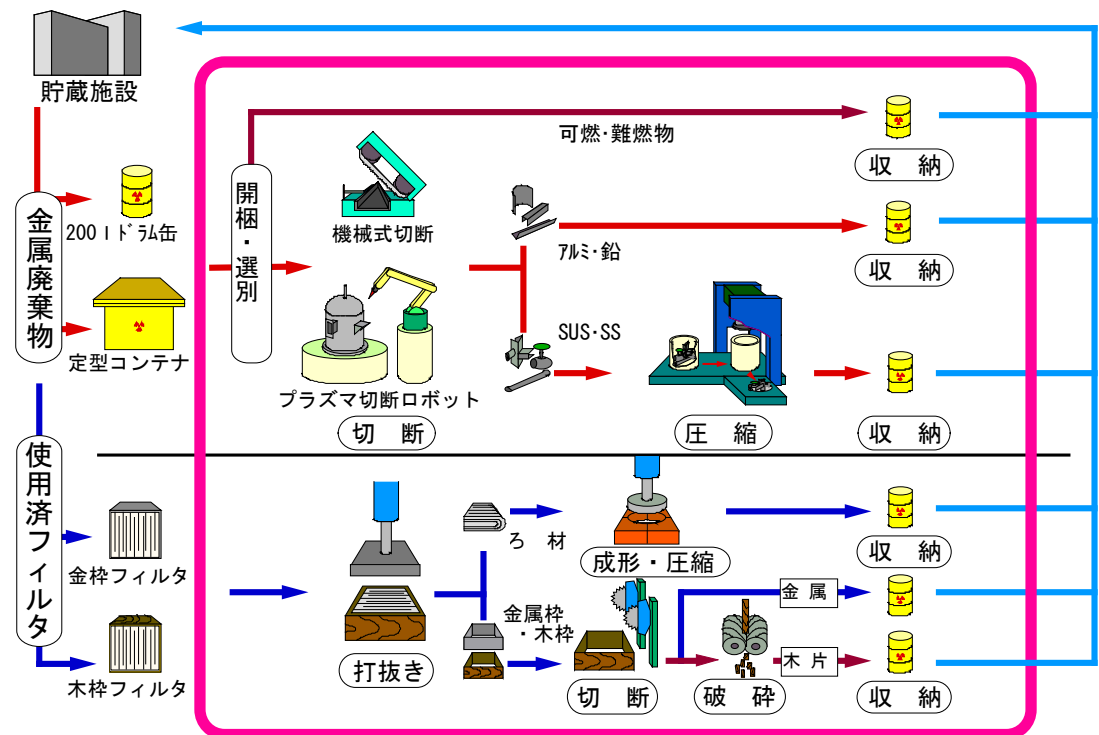
上記の目的のため、ウラン廃棄物処理施設のうち、第2ウラン系廃棄物貯蔵施設の詰替室において、フィルタの減容処理を実施するとともに、M棟での固体廃棄施設の設備の一部である「フィルタ処理パネルボックス」を、「使用を終了し、維持管理中の設備」に変更するため、核燃料物質使用変更許可申請書を変更することを予定している。

## 2.施設の概要(M棟)

M棟は、ウラン系廃棄物貯蔵施設(UWSF)、第2ウラン系廃棄物貯蔵施設(第2UWSF)に保管廃棄したウラン系固体廃棄物のうち、金属廃棄物及び使用済フィルタを減容処理する施設である。



M棟



M棟の処理フロー

## 2.施設の概要(UWSF及び第2UWSF)

UWSF及び第2UWSFは、ウラン取扱施設で発生したウラン系固体廃棄物(200Lドラム缶、コンテナ等に収納)を受け入れ、保管管理している。

第2UWSFには経年劣化等により詰替えが必要となった廃棄物容器を新しい容器に詰め替えるための詰替設備や廃棄物中のウラン量を測定するための非破壊測定装置を設けている。



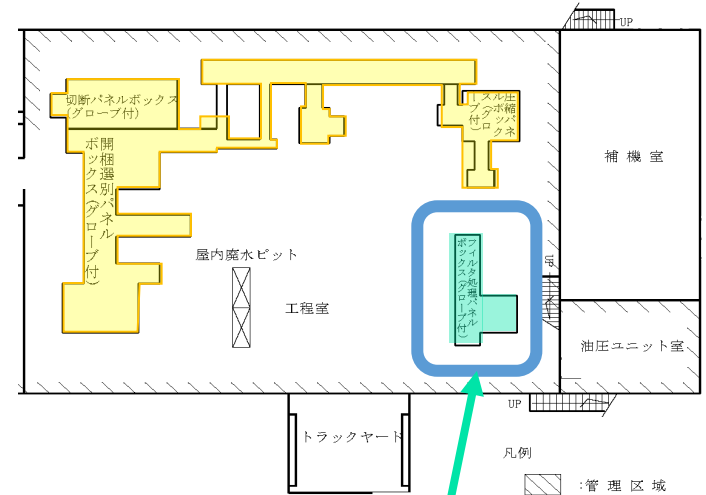
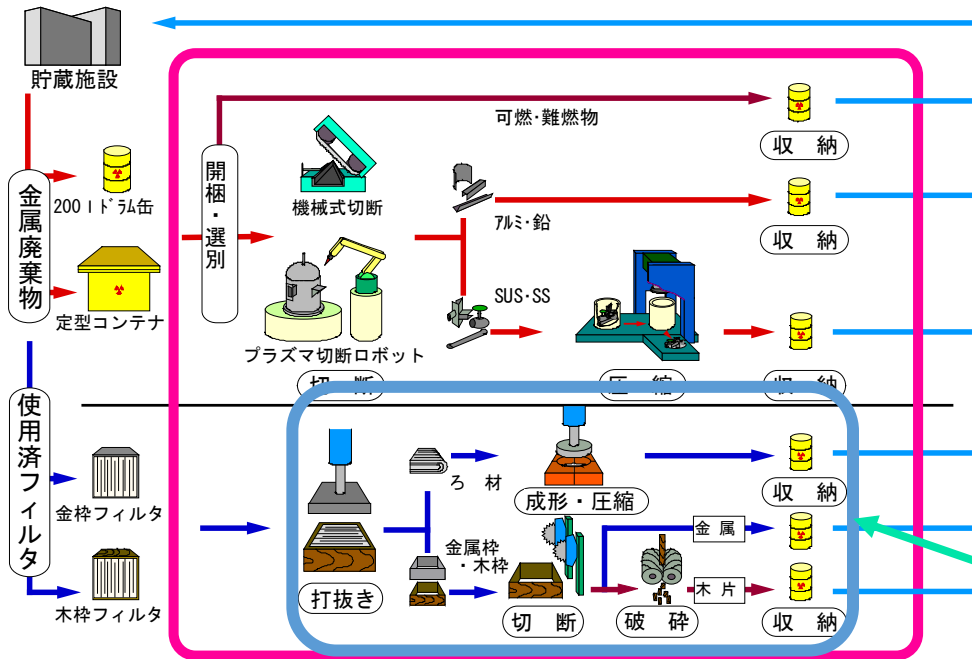
UWSF



第2UWSF

### 3. 使用を終了する設備について(M棟)

- 今後、保管している不定型フィルタの処理を進めることから、定型フィルタの処理しかできない「フィルタ処理パネルボックス」の使用を終了し、本設備を「使用を終了し、維持管理中の設備」に変更する。

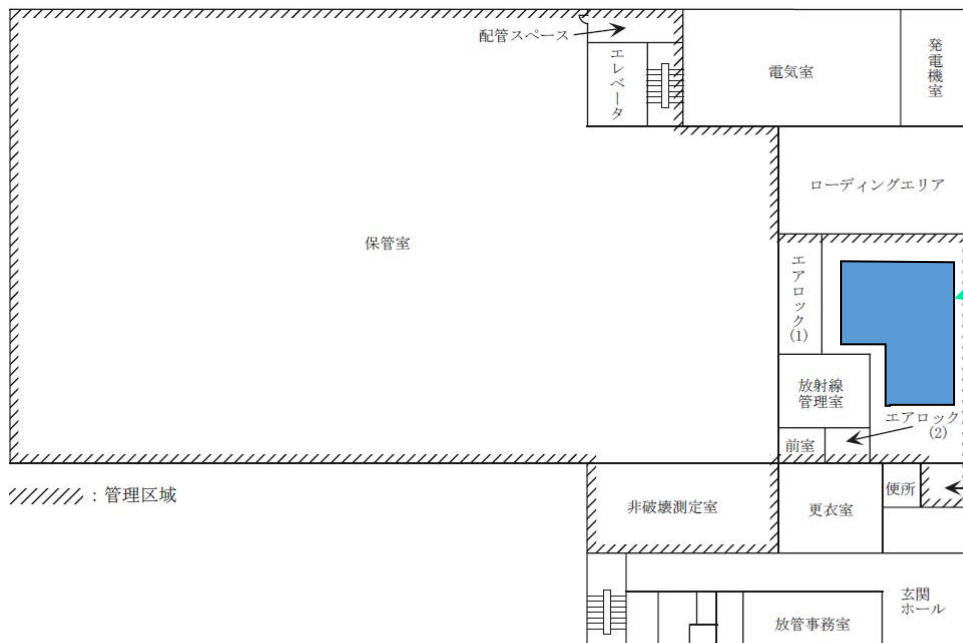


使用を終了するフィルタ処理パネルボックス 5

## 4 作業内容の追加について(ウラン廃棄物処理施設)

### ＜ウラン廃棄物処理施設＞

- フィルタの処理作業を第2UWSFの詰替室で実施することを追加する。



第2UWSF 詰替室 パネルハウス

第2ウラン系廃棄物貯蔵施設平面図（1階）